

近郊整備地帯の人口変化に関する分析

日本大学大学院 学生会員 ○圓山 洋平
 日本大学 正会員 大沢 昌玄
 日本大学 正会員 岸井 隆幸

1. はじめに

近年、少子高齢化や都心回帰が進行しそれまで人口増加が続いていた首都圏の都市においても人口の増減に違いが見られるようになった。

本研究では、これまで人口増加が著しかった近郊整備地帯においてどのような人口増減の変化が生じているか実態を明らかにする。

2. 分析対象の単位と年次

近郊整備地帯に属する自治体では市町村合併が進んでいるが、分析する指標を統一するため2000年時点の市町村単位とし、合併された市町村は合併後の町丁目人口を分割前の単位で再計算し算出する。

また、変化を分析する期間は1995年から2005年の10年間とし、95年、00年、05年、3時点の国勢調査を基に分析を行う。

3. 対象地域の分析

3.1 人口増減の動向

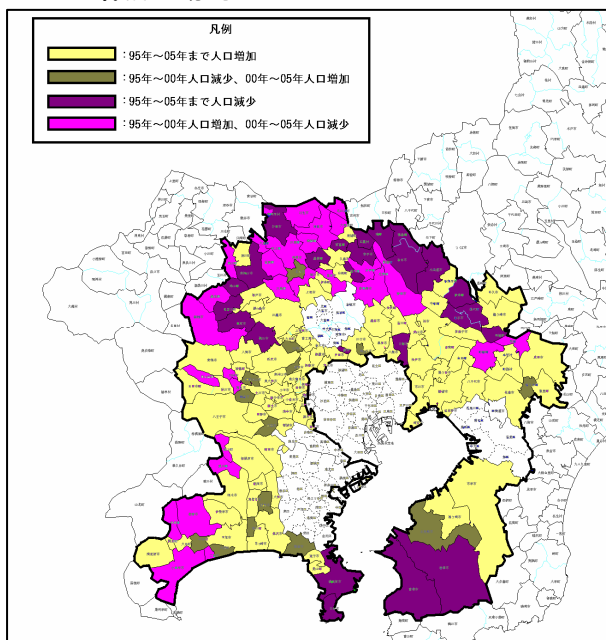


図-1 対象区域における人口増減
 （黒線枠内が近郊整備地帯）

対象地域の人口増減を分析すると95年から00年の平均人口伸び率は102.7%、市町村あたりの平均増加人数3224人、00年から05年の伸び率は101.9%、平均増加人数3218人で人口の伸びは鈍化しているものの全体の人口はまだ微増していることがわかる。

都市別に見ると、図-1のとおりである。

〈A グループ〉

95年～05年人口増加し続けた都市（94都市）

千葉県本埜村が95年～00年人口伸び率185%、埼玉県滑川町が00年～05年伸び率120%など高い人口伸び率を示している。

〈B グループ〉

95年～00年人口減少し、00年～05年から

人口増加に転じた都市（14都市）

埼玉県岩槻市、鳩ヶ谷市、東京都昭島市、あきる野市などの都市がこのグループに属する。

〈C グループ〉

95年～05年人口減少し続けた都市（35都市）

埼玉県鳩山町は、7%ずつ人口が減少しており、この他にも、95年から00年の人口の減少が大きい都市は00年から05年の減少率も高い値を示す。

〈D グループ〉

95年～00年まで人口増加し

00年～05年人口減少に転じた都市（17都市）

埼玉県杉戸町は、00年まで105%人口が増加したにもかかわらず05年には、00年比98%と減少に転じている。

3.2 95年～00年と00年～05年の人口伸び率の変化

図-2は、対象都市の95年～00年、00年～05年人口伸び率を示した散布図である。（図内鎖線は各軸の平均の伸び率を示す）10年間人口が減り続けた都市と、00年から人口が減り始めた都市は、埼玉県鳩山町、茨城県利根町や神奈川県三浦市など都心から

キーワード 人口増減、首都圏整備法、近郊整備地帯、国勢調査

連絡先 101-0834 東京都千代田区神田駿河台1-8

電話 03-3259-0691

の距離が遠い都市が多い。一方、10 年間人口が増え続けている都市は千葉県八千代市、東京都府中市、埼玉県吉川市など都心からの距離が近い。

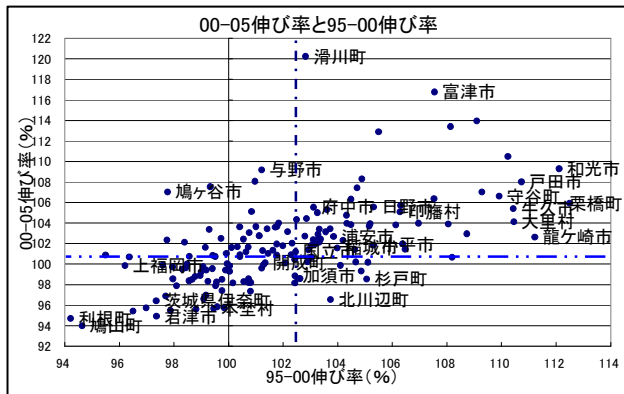


図-2 人口伸び率散布図

3.3 人口伸び率とターミナル駅までの距離⁽¹⁾

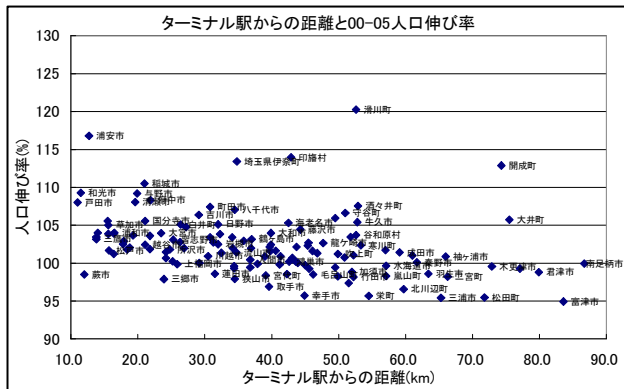


図-3 ターミナル駅からの距離と人口伸び率

図-3は00年から05年の人口伸び率とターミナル駅からの距離の関係を示したものである。ターミナル駅からの距離が遠いほど人口伸び率が低くなる反比例の傾向を読み取ることができ、千葉県富津市、神奈川県大井町、松田町などのターミナル駅からの距離が遠い地域は人口伸び率が低い。

しかし、埼玉県滑川町、千葉県印旛村、神奈川県開成町、大井町などはターミナルからの距離が遠い

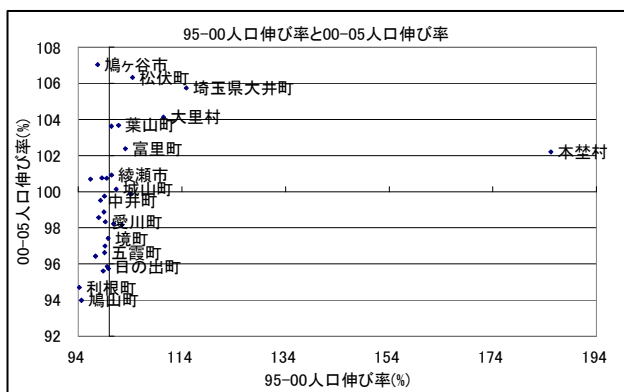


図-4 駅を持たない市町村の人口伸び率

にもかかわらず人口が増加している特異な都市と考えられる。

図-4 は、地域内に駅を持たない市町村の人口伸び率を示したグラフである。3.1 のグループによって分類すると、A グループ=9 地域、B グループ=4 地域、C グループ=14 地域、D グループ=3 地域で人口が 10 年間減り続けた地域と増え続けた地域が多く、増減の傾向が転じる地域は少ないことが分かった。また A グループに属する本埜村は、東京都心から直線距離で 41km ありながら 185% という高い人口伸び率を示している。これは、千葉ニュータウン開発との関係があると考えられる。

4. まとめ

本研究では近郊整備地帯を対象に 95 年から 05 年の国勢調査人口を基に人口変化の実態を把握した。その結果、人口変化は市町村代表駅とターミナル駅からの距離が影響し、ターミナル駅からの距離が遠くなるほど人口伸び率は低くなることが判明した。

5. 今後の課題

分析に当たって、ターミナル駅からの距離を都心との距離関係として採用した。今後は、鉄道網と人口伸び率の関係を詳しく分析しターミナル駅からの距離に加え鉄道のサービスレベルや鉄道と市街地の関係性が人口増減にどのように影響するのかを解明していく。

【補注】

(1) ターミナル駅からの距離

対象市町村内に位置する鉄道路線の駅を全て抽出し、その中で最多乗降客数の駅を当該市町村の代表駅とした。次に、山手線の駅をターミナル駅として、代表駅との営業距離が最も近い距離を経路探索ソフトで検索し、得られた距離をターミナル駅からの距離とした。

経路探索ソフトは、ヴァル研究所「馱すぱーと」を用い 2000 年現在未開通のつくばエクスプレス、埼玉高速鉄道を使用しない設定として検索した。

【参考文献】

- 1) 株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所，駅別乗降者総覧'07，2007年
- 2) e-stat 政府統計の総合窓口，地図で見る統計

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/toukeiChiri.do?method=init>